公益財団法人佐藤陽国際奨学財団

2026 年派遣留学奨学生募集要項

公益財団法人佐藤陽国際奨学財団は、次のような学生を支援します。

- 学業に優れ、学業に専念する者
- 日本文化をはじめ、異文化理解など国際交流に努める者
- 地域交流、ボランティア活動など社会貢献に努める者
- 学んだことを社会に役立てる意欲のある者

書類受付締切：　2025 年 12 月 19 日（金）　正午必着

Ⅰ. 応募資格

当財団の協定大学に在籍し対象国に留学する学生であって，下記の全ての条件を満たし、協定大学が推薦した日本国籍を有する学生を対象とする。

留学対象国

東南アジア諸国（インドネシア、カンボジア、シンガポール、タイ、フィリピン、ブルネイ、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、ラオス、東ティモール）及び南西アジア諸国（インド、スリランカ、ネパール、パキスタン、バングラデシュ、ブータン、モルディブ） 18ヶ国

① 国際理解と親善に関心を持っていること
② 他の奨学金又はこれに類する金品を受給していないこと（貸与奨学金及び学費免除は可）※
③ 学内の特別プログラム等で、使途自由な金銭を受給していないこと※
④ 奨学生として採用された後、異文化交流を目的とする当財団の交流会に必ず出席すること
⑤ 留学修了後に開催される「留学報告会」に必ず出席し、留学の成果を報告すること
⑥ 協定大学に在籍する学生であって、協定プログラムで定められた対象大学での履修期間が6ヶ月以上かつ2セメスター以上であること
⑦ 2026年9月末までに留学を開始すること
⑧ 在籍大学における直近までのGPAが3.25（4.00満点）以上であること
（GPAの算出方法は募集要項4ページをご覧ください。）
⑨ 留学先での勉学・研究に支障のない語学力を有すること
⑩ 留学先国で就業又は居住している親がいないこと
⑪ 留学中は財団の許可を得ることなく日本に帰国しないこと
⑫ 帰国後、SATOMとして財団の交流活動やネットワーク構築等に積極的に協力できること
（SATOMとは当財団の卒業生の総称です。）
※ 応募時に奨学金や学内の特別プログラムで金銭等を受給している場合であっても、当財団の奨学金支給開始時に、受給が終了している場合は応募できます。

Ⅱ. 奨学金

奨学金	月額100,000円
	ただし、シンガポールに留学する場合は月額180,000円
	一ヶ月に満たない月の奨学金は10日単位割りの計算とする。

Ⅲ. 支援金

1. 渡航費等	250,000円 （往復航空券、空港施設使用料等）
2. 交換留学一時金	150,000円 （予防接種費用等）
3. 保険料（海外安全危機管理サービス費含む）	
	150,000円を限度とする実費 ※日本出発時に支払った額のみ支給
4. その他	ダブルディグリープログラム留学で学位取得の際は、帰国後登録料を支給

Ⅳ. 支給期間・支給方法

1. 奨学金の支給対象期間:

財団が認めた留学期間とし、留学先に入国した日から支給を開始し、留学先を出国した日に支給を停止する。ただし、留学期間を超えて留学先に滞在した場合は、留学期間終了日をもって支給を停止します。

2. 支給方法:　2ヶ月毎、2ヶ月分を本人名義の日本国内金融機関口座に日本円で振込

Ⅴ. 募集人員

10名程度

Ⅵ. 推薦方法・書類締切

大学の留学担当部署を窓口として、推薦する学生の応募書類を下記期日までに当財団宛にメールにて送付してください。

書類締切:　2025年12月19日(金) 正午必着

書類送付先:　sisf@sato-global.com

- 提出書類はPDF化した後、ファイルが明瞭に判読できることを確認の上、ご送付願います。
- 解像度:300dpi、申請書(別紙①-1/2)はカラーPDF、その他の書類は白黒 PDF にてご対応ください。

Ⅶ. 提出物　※は当財団所定用紙使用

① 申請書 (2枚)　※別紙① 自筆
② 指導教員推薦書(厳封)　※別紙②
③ エッセイ (1枚)　※別紙③ 自筆
④ 留学計画書　※別紙④ 自筆
⑤ 経費計画書　※別紙⑤ 自筆
⑥ 研究計画書 (2026年4月時に大学院在籍学生のみ提出) A4サイズ1枚、ワープロ可
⑦ 在学証明書
⑧ 学業成績証明書
(学部生は、高校の成績から直近まで。大学院生は、学部から直近までの学業成績証明書)
⑨ 大学間交流協定書の写し
⑩ 応募者の留学スケジュール(履修の開始及び終了予定時期、帰国時の HOME 大学の学年及び卒業予定時期等)　A4サイズ1枚、ワープロ可
⑪ アカデミックカレンダー

Ⅷ. 選考及び結果発表

書面選考及び面接選考

- 書面選考の結果は、2月10日(火)までに留学担当部署宛てに通知します。
- 面接選考は2月21日(土)又は22日(日)に東京にて実施予定です。

・　面接選考での自己 PR は英語で行います。
・　面接選考の結果は、3 月 18 日（水）までに留学担当部署宛てに通知します。
・　合格した学生は、東京でおこなわれる「認証式：4 月 18 日（土）」に必ず出席してください（交通費支給）。疫病や自然災害等で認証式が開催できない場合など、変更することがあります。

Ⅸ. 留意事項

1. 派遣留学奨学生が以下のいずれかに該当する場合は、奨学金の支給を停止することがあります。（「奨学生規則」を当財団ホームページ（http://www.sisf.or.jp）で事前に確認してください。）
   ① 留学期間中に無断で帰国した場合
   ② 交流会を無断で欠席した場合
   ③ 「生活報告書」その他提出物を期限内に提出しなかった場合
   ④ 指導教員から修学または研究の継続が不適当とされた場合
   ⑤ 学業成績が不良の場合
   ⑥ 休学・転学の場合
   ⑦ 法律や社会秩序に反する行為を行った場合
   ⑧ 財団の名誉を傷つける行為をした場合
   ⑨ 留学中の出国日数（45 日間）を超えた場合
   ⑩ 対象国以外に出国した場合
2. 派遣留学する場合は、留学前に留学先国の言語を学んでください。
3. 合格時点で派遣先大学の承認を得られていない場合は仮合格として、その後、承認を得られなかった場合には合格を取り消します。
4. 「HOST 大学の入学許可証（写し）」を入手次第、HOME 大学を通して提出してください。
5. 「自筆」と指示のある申請書は、必ず本人が記入してください。

≪問い合わせ先≫
公益財団法人佐藤陽国際奨学財団　派遣留学係
〒108-0023　東京都港区芝浦3-1-1 田町ステーションタワーN
TEL:　03-6435-3388
FAX:　03-6435-3165
E-mail: sisf@sato-global.com

≪選考用 GPA の算出方法≫

大学の GPA とは別のものです。

1) 応募者が学部学生の場合は、在籍課程の直近までの学業成績を、以下の〈換算表〉を使い、在籍大学の成績評価方法のパターンにより「選考用評価ポイント」に換算してください。
（例：大学の評価法がパターン2で成績評語が A の場合は、選考用評価ポイントは G3）

2) 成績の段階評価がなされていない「認定」等の科目や、卒業に必要な単位には算入されない科目（教職科目や自由科目など）は計算（分母および分子）から除外してください。

3) 下記〈選考用 GPA 計算式〉により選考用 GPA 値を算出してください（小数点第3位を四捨五入）。

4) 大学によって GPA の算出方法が異なるので、まず在籍大学の評価方法を確認し、必ず自分で成績表を確認しながら、G4~G0 の各単位数を数え、上記 1)～3) の方法により選考用 GPA を算出してください（大学の GPA とは数値が一致しないことがあります）。選考用 GPA の算出において誤りがあった場合は、「書類不備」の扱いとなりますので慎重に計算してください。

5) 修士課程、博士課程在籍の応募者は学部卒業時の成績を用いて上記 1)~3)の方法により算出してください。

〈換算表〉

選考用評価ポイント	G4	G3	G2	G1	G0
5段階評価(パターン1)	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59点以下
5段階評価(パターン2)	S	A	B	C	F
5段階評価(パターン3)	A＋	A	B	C	F
5段階評価(パターン4)	A	B	C	D	F
5段階評価(パターン5)	秀	優	良	可	不可
5段階評価(パターン6)	優上	優	良	可	不可

〈選考用 GPA 計算式〉

$$\frac{(\text{「G4 の単位数」} \times 4 + \text{「G3 の単位数」} \times 3 + \text{「G2 の単位数」} \times 2 + \text{「G1 の単位数」} \times 1 + \text{「G0 の単位数」} \times 0)}{(\text{「G4 の単位数」} + \text{「G3 の単位数」} + \text{「G2 の単位数」} + \text{「G1 の単位数」} + \text{「G0 の単位数」})}$$